

6月14日

### 親子のあそび場を提供 出張あそびの会を開催

みんなで仲良く



町健康こども課子育て支援センター「ひなたぼっこ」と地域おこし協力隊の生永隊員が6月14日、泉ふれあいセンターで出張あそびの会を開催しました。

車がないので遠くまで遊びに行けない。歩いて行けるあそび場が欲しい。などの声から昨年10月に始まり、今回で6回目となりました。年齢の近い親子の出会いや繋がりをつくることも目的のひとつで、この日は9組の親子が参加。こどもたちは手づくりおもちゃを笑顔で楽しんでいました。



6月17日～7月31日

### 素敵な作品の数々 弟子屈郵便局で同時開催

美しい写真の数々



弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、6月17日～7月5日、石橋和美さんの「木工作品展」と7月1日～31日、「村上まさる・浦田マルニー二人展～美しい弟子屈～」が開催されました。

木工作品を制作した石橋さんは、庭にあったオンコの枝や河川などにある流木を利用した作品をたくさん展示されています。

写真展を行った村上さんと浦田さんは、弟子屈フォトコンテストで受賞するなどさまざまなコンテストで入選されている写真家の方々です。今回は町内の素敵な風景写真を展示していました。

学芸員講座の様子



### 6月17日 阿寒摩周国立公園について学ぶ 学芸員講座を開催

町ふるさと歴史館の学芸員である津久井薫さんが6月19日、学芸員講座を町公民館で開催し、58人もの参加者が集まりました。

今回で3回目の講座は「阿寒摩周国立公園から見る弟子屈の歴史」と題し、国立公園指定の歴史やなぜ阿寒、弟子屈が国立公園に指定されたのかなどをわかりやすく解説。参加した皆さんは真剣に耳を傾けていました。

6月22日

### 花にあふれた環境づくり 花いっぱいフラワーロード事業を実施

きれいに植栽



町花いっぱい運動推進会(西崎勉商工会青年部長)は6月22日、国道243号沿いの鈴蘭地区交差点で美化活動を行いました。

花いっぱいフラワーロード事業は町の景観向上を目的に商工会青年部・女性部が中心となり、2005年から行われている事業で今回16団体、約50人が約2800株のマリーゴールドなどを植栽し、道路脇が色とりどりの花であふれる景観になりました。

花の苗を植える様子



### 6月19日 思いやりの心を養う 人権の花運動を実施

釧路人権擁護委員会主催の人権の花運動が6月19日、弟子屈小学校(渥美清孝校長)で行われました。

この運動は、花を育て思いやりの心を育むことを目的に行われ、贈呈式では、同委員会から花の苗50株が贈呈されました。その後、5年生と町人権擁護委員の方々でプランターに苗を植えました。

町人権擁護委員の日下部さんは「花を大切に育て、命の大切さを学んでほしい」と話していました。

## 誇れるまちを目指して

てしかがえこまち推進協議会総会を開催

てしかがえこまち推進協議会(徳永哲雄会長)の総会が、6月12日、町役場で開催されました。同協議会は、「誰もが自慢し誰もが誇れるまち」をテーマに、町民の皆さんが主体となり、各部会においてさまざまな活動を行っています。

総会には徳永会長をはじめ、会員や関係者約30人が参加し、各専門部会からは、今後実施していきたい取り組みなどを協議したほか、昨年度の活動報告や収支決算、新年度予算案などが承認されました。

開会の挨拶の中で徳永会長は、「これから中心市街地や川湯温泉の再整備などで、町全体が大きく変わっていく。今の時代に合った、より良い団体、活動を目指し、これからは、皆さんと協力してさまざまな取組みを実施していきたい」と挨拶しました。



徳永会長による挨拶



各部会からの活動報告

## 町の話題



CloseUp Topics

## 先人への感謝と 未来に向けて

町消防創設100周年記念式典を開催



感謝状の贈呈



徳永組合長による式辞

町消防創設100周年記念式典が6月22日、摩周観光文化センターで行われました。

同消防は、1924年5月に公設弟子屈消防組として腕用ポンプ1台と消防手30人で発足し、1932年には川湯消防組が設置されました。2021年には、弟子屈と川湯の両消防団が統合し、町消防団に生まれ変わりました。現在は、弟子屈町、標茶町、鶴居村で構成する釧路北部消防事務組合(徳永哲雄組合長)が、釧路北部地区の消防活動を担っています。

式には、徳永組合長をはじめ関係者約180人が出席。式の中で徳永組合長は「町民や観光客を守るため迅速な対応ができる強靱な消防体制の構築が必要。釧路管内の各市町村との連携を密にしていきたい。」と式辞を述べました。その後、これまでの100年のあゆみをスライドで紹介するほか、数々の功績をたたえ、27個人6団体に感謝状が贈呈されました。

町消防団藤田茂団長は「皆さんのご理解とご協力があったの100周年。関係者の皆さんにはこれからもご指導などをお願いしたい。」と謝辞を述べました。



7月4日

### 災害時に備えて 災害支援機材の贈呈式を開催



今回寄贈されたガス赤外線ストーブ

コード2本を町に贈呈しました。

これは、平成22年11月に締結した「災害等の発生時における災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定」によるもので、これまでも災害支援機材の寄贈を行ってきました。

青木会長は「災害時にぜひ使ってほしい。」と話していました。

一生懸命火おこし



ファイヤー学習を行いました。人間と火との関わりなど理解を深めてもらおうと毎年実施しているもので、同支部弟子屈分会の青木浩二会長など9人が来校し、L Pガスについて説明しました。その後の火おこし体験にも児童は真剣に取り組んでいました。

7月4日

### 火について学ぶ ファイヤー学習を実施

北海道L Pガス協会釧路支部（平山晴章支部長）の皆さんが7月4日、弟子屈小学校（渥美清孝校長）5年生に

7月9日

### 100年後の環境保全を 子ども園の園児がヤマベの稚魚を放流



放流をする園児たち

釧路・リバー・プロテクション・21の会（川村利明会長）によるヤマベの稚魚の放流が7月9日、釧路川ふれあい広場で行われました。

同事業は、平成21年から魚類資源の回復のために行われており、釧路開発建設部釧路河川事務所（西藤浩二所長）や町、こども園まじゅう（鈴木幸榮園長）の園児25人の手により釧路川に放流されました。

川村会長は、「近年、ヤマベの数は顕著に減少している。どこの場所でも釣りができるように100年後の環境を守りたい。」と話していました。

一生懸命玉入れ



たちと一緒に七夕まつりを行いました。

先生方から七夕の由来を聞いたあと、園児全員で「たなばたさま」を歌い、クラスごとに彦星と織姫が描かれたかごに玉入れを行いました。元気で大きな声で歌ったり、一生懸命玉入れをする園児を見ることができました。

7月5日

### 願いが叶いますように 七夕まつりを実施

認定こども園まじゅう（鈴木幸榮園長）は7月5日、子育て支援センター「ひなたぼっこ」のこども

### 長年にわたり選挙管理委員会委員として貢献 北海道市町村選挙管理委員会連合会表彰を受賞



今回受賞した平田さん

町選挙管理委員会の平田くに子さんが5月16日、室蘭市で行われた北海道市町村選挙管理委員会連合会（白井暢明会長）定期総会にて北海道市町村選挙管理委員会連合会表彰を受賞しました。

平田さんは、町選挙管理委員会委員として4年、委員長職務代理者として令和2年から現在まで務め、長年にわたり、適正な選挙の管理執行と公正な選挙啓発に寄与した功績が認められ、今回の表彰となりました。7月19日には、町公民館を訪れ、伝達式が行われました。

7月12日、22日

### 人権について考える 人権教室を開催



人権について学ぶ児童

催されました。

講師は町人権擁護委員の金井典子さん、芳藤啓順さんが務めました。児童は、それぞれの個性やいじめなど身近な人権問題をテーマにしたDVDを視聴したり、グループワークなどを通して人権への理解を深めました。

6月25日

### 援農への思いをつなぐ 援農の碑記念式を開催



感謝の気持ち込めて

太平洋戦争中の1925年（昭和20年）、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校（現・久慈東高校）の生徒をたた

える援農の碑記念式が6月25日、摩周観光文化センター敷地内の同碑前で行われました。

同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年6月25日に建立しました。式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となって毎年行っています。先人たちが愛した「北上夜曲」に思いを込めて、参加者の斉唱が響きました。今年は町内の関係者15人が出席し、生徒たちの功労や苦勞に思いをはせました。

6月27日

### 自身のあり方や生き方を振り返る ロコ・ソラーレ鈴木夕湖選手が講演会を実施



講演を行った鈴木夕湖選手

特別講師として招き、講演会を実施しました。

鈴木選手は、旧常呂町出身で北京五輪で銀メダルを獲得するなど活躍しており、チームが大切にしていることとして、「コミュニケーション」と「失敗を失敗にしない」の二つをあげました。話しやすい雰囲気づくりや試合に負けた後、「あの負けがあつてよかった」といえるように反省を生かして強くなりたいと話し、生徒たちは世界の大舞台で活躍する選手の話に耳を傾けていました。

6月30日

### 町をきれいに クリーン作戦を実施



参加した郵便局の皆さん

この取り組みは、地域貢献と6月の環境月間に合わせて毎年行っているもので、各局の社員14人が参加しました。約2kmの距離を火ばさみなど使用し、空き缶やペットボトルなどを拾い集めました。

参加した社員は「去年よりゴミがとても少なかった。観光客にきれいな町であることをPRできたらいい。」と話していました。

6月26日

### 自閉スペクトラム症への理解 自閉スペクトラム症連続講座を開催



講座の様子

発達つこママの会（鈴木茜会長）は、6月26日、「自閉スペクトラム症の子どものコミュニケーション」と題した講座を町社会老人福祉センターで行いま

した。本講座は、自閉スペクトラム症を持つ子どもへの理解や支援の方法を学ぶことを目的に開催されたもので、今回2回目の講座となり約30人が参加しました。講師はNPO法人ふわり統括施設長高野幸子さんで自発的に感情を伝えたいと良いことがあったと小さい頃から経験させることが大切だと話していました。次回は、8月7日（休）開催とのことでした。

6月28日

### 川湯を知ろう 川湯保育園で歩き遠足を実施



硫黄山で記念撮影

川湯保育園（番場新一郎園長）は6月28日、歩き遠足を実施しました。

0～2歳児は、旧園舎の園庭に行き、

林で自然探索を行い、3～5歳児は、川湯の街を知るために大鵬相模記念館を見学し、硫黄山まで歩きました。

天候にも恵まれ、汗をたくさんかいた園児たちは、美味しいお弁当を食べ笑顔がたくさん見られました。